

## 九州大学新聞

<https://hdl.handle.net/2324/1520293>

---

出版情報：九州大学新聞. 97, 1933-11-05. 九大法文会  
バージョン：  
権利関係：

# 新渡戸先生の回想

小出満



英文は元より筆者となつてゐる。

がよいかとの質問に筆者で返事

されたこともある。

たが、邦文は著述となつてゐる。

ものなど大抵は他の筆記にか

らなるやうなことは決してなく

ある場合にあればどう務めで

居られるのである。

一度ならず「假想」が立つ

たのだ」と語られたが、筆者

は「假想」が立つた

のである。けれども間違つて

いたと思ふ。

青年期の學習には臨

時も東京、札幌、米國、豪州と

分れるは邦文として、公人として

札幌農学校、臺灣總督府と

る。語して書かせて見に手に

はするやうなことは決して

ないのは分りで會ふと立ち

て外に出て、筆者も假想

が立つたと思ふ。

邦文の新著も常に注意され

が、やはり讀書の大部分は英書

であり、史論や時評が多かつた

それが後年まで續いていた

が、その裏面は却て廣漠

なものであつた。專門に提へら

ばれたので、三才の魂は終ら

生つてゐた。末子であつた

が、やはり讀書の大部分は英書

であり、史論や時評が多かつた

それが後年まで續いていた

が、その裏面は却て廣漠

なものであつた。專門に提へら

ばれたので、三才の魂は終ら

生つてゐた。末子であつた

が、やはり讀書の大部分は英書

であり、史論や時評が多かつた

それが後年まで續いていた

が、その裏面は却て廣漠

なものであつた。專門に提へら

ばれたので、三才の魂は終ら

生つてゐた。末子であつた

が、やはり讀書の大部分は英書

であり、史論や時評が多かつた

それが後年まで續いていた

が、その裏面は却て廣漠

るものであつた。專門に提へら

ばれたので、三才の魂は終ら

生つてゐた。末子であつた

が、やはり讀書の大部分は英書

であり、史論や時評が多かつた

それが後年まで續いていた

が、その裏面は却て廣漠

のものであつた。專門に提へら

ばれたので、三才の魂は終ら

生つてゐた。末子であつた

が、やはり讀書の大部分は英書

であり、史論や時評が多かつた

それが後年まで續いていた

が、その裏面は却て廣漠

のものであつた。専門に提へら

ばれたので、三才の魂は終ら

生つてゐた。末子であつた

が、やはり讀書の大部分は英書

であり、史論や時評が多かつた

それが後年まで續いていた

# 指導的労働者講座開催して

十一月一日より久留米に於て

大澤教授



三田村  
學術的解剖

伊藤助教授が  
南洋諸島の

熱帶の農業研究

田中館博士の

講演開かる

大平教授

最近の經濟的動向

大森研究造

最新の經濟的動向

大澤教授

最新の經濟的動向



